



**1** 6年前、大きなランドセルを背負って入学してきた子どもたち。6年間の日々を過ごして、成長した22人が卒業の日を迎えました。

**2** 卒業証書を授与した兼田等校長は、学校教育目標の「共に生きる」を引用して、「新しい世界で出会った人と共に生きる中で、自ら挑戦し友達の挑戦を応援できる人になってください」とはなむけの言葉を贈りました。

**3** 1年生のときは校舎建設のため、玖波中学校に登校。2年生からは真新しい校舎で一緒に学校生活を送ってきた仲間。新校舎と共に過ごした思い出を胸に、学びやを巣立って行きます。



**3/18 FRI**

**玖波小学校**

**「共に生きる」一人に**

拍手で卒業生を見送ります。



**15** 部活動の後輩から贈られた色紙。お祝いと感謝の言葉がこめられています。先輩と後輩がメッセージの交換をしました。



**17** 高校生活に向けて力強いポーズ。満開の梅も卒業を祝っているようです。

※記念撮影のため一時的にマスクを外しています。



**3** 在校生代表、2年生の鈴木結さんの送辞。家で何度も練習したそうです。**4** 卒業生を代表して福田亮祐さんの答辞。思い出いっぱいの学校生活を振り返り、感謝の言葉を添えます。**5** 17人の思いを込めた「道」の合唱を指揮する中本実杜くん。**6** 最後の校歌を歌いあげました。



**1** ちょっと緊張気味で一礼。**2** 渡部校長から一人一人に卒業証書が手渡されます。



**最高の思い出をありがとう**

**玖波中学校**

正門横の梅が咲き誇る季節、玖波中学校の卒業式が執り行われ、教職員、保護者らが、17人の生徒の門出を祝福しました。式辞で渡部智子校長は、数々の行事が満足にできないコロナ禍を振り返り、厳しい日程の中での体育祭、文化祭での奮闘ぶりをたたえ「優しさと強さを両立させて、しなやかに、たくましく生き抜いてください」とエールを送りました。

式後は教室に戻り、一人一人が3年間の思いを述べます。「最高の思い出をありがとう」「みんなといると楽しかった。別れたくない」。感極まって言葉を詰まらせる場面もありました。小・中学校の9年間で共に過ごした仲間。それぞれの道を歩み始める喜びと寂しさの入り混じった表情でした。

**3/14 MON**



**7** ちょっと照れくさいけど、感謝の気持ちを込めて保護者に記念品を渡します。



録音を終えてちょっとひと安心。右から藤川さん、佐々木さん、ベリックさん、森さん。4カ国語の構内放送は、大竹駅で8時から19時まで流れています。

**駅アナウンスは4カ国語**

**岩国駅**

大竹高校の生徒が、大竹駅の構内で流れる注意喚起のアナウンスを管理駅の岩国駅で吹き込みました。生徒の65%が大竹駅を利用していることから、ほかの駅利用者のためにとの思いで外国語でのアナウンスを提案したものの、4人の生徒たちは、日本語、英語のほかに、選択科目で履修している韓国語、中国語を分担して録音に臨みます。「広島弁が出ないか気をつけました(笑)」と日本語担当の藤川琴美さん(2年)。韓国語は佐々木笑花さん(2年)、中国語はジュニ・アンジェラ・ホープ・ベリックさん(2年)が担当です。小学校時代にケンタッキー州に住んでいたという英語担当の森花瑠愛さん(1年)は、滑らかな発音。控室で入念なりハーサル後、いよいよ本番。練習を重ねた成果が発揮できたようです。

**ふるさとのこと考えてみよう**

**小方小学校・玖波中学校**

昨年10月に、小方小6年生の『未来のよりよい大竹市について考え、プレゼンテーションをする』という学習プログラムで、企画財政課職員が、『未来の大竹をつくろう』と題して話をしました。その授業を受けた児童たちは、各グループで話し合い、まとめたものを2月24日に発表。現在大竹市が抱える課題などを分析し、「人口減をくいとめるためには」「自然との共生」「新たなイベントの開催」「子育て世代への助成」など、他都市の先進事例も調べ、どのようにすれば明るい未来のまちになるかを提案しました。

3月17日には、玖波中1年生が、ふるさとの「歴史」「自然」「行政」「祭り」「公民館」の分野に詳しい地域の人から学び、まとめたものを発表しました。発表の後は、グループごとに地域の人から感想を聞く場もあり、改めて玖波のこと、大竹市のことを知り、考える機会となったようです。



**14** (左) 大竹市の未来像を描いた数々の提案。(小方小) (右) 発表を聞いた後、「よくまとめたいたよ」と声を掛けます。(玖波中)



**3/17 THU**



**入学式の思い出**



**14** 3年前、真新しい制服姿が初々しい入学式。小学校を含めると9年間の学校生活を共にしました。



**10** 「卒業おめでとう」の言葉とアニメのキャラクターの黒板アート。**11** 先生も思わず涙がこぼれます。**12** 友達との別れに言葉を詰まらせます。



**9** 保護者から先生と生徒の名前入りのTシャツが贈られました。**10** 「卒業おめでとう」の言葉とアニメのキャラクターの黒板アート。**11** 先生も思わず涙がこぼれます。**12** 友達との別れに言葉を詰まらせます。



**8** 一人一人の成長ぶりを振り返り、言葉をかける担任の倉重先生。

実行の人  
玖波中